

保健福祉学部 看護学科 授業開放2017

看護学科では、病気の予防や健康回復を支援するために、人間の発達や健康に関する様々な授業や演習を行っています。本学科の授業や演習を通して、看護学の学問の重要性や学ぶことの意義や楽しさを知っていただくために、高校生を対象に学科教員による授業開放を開催します。

開催日：平成29年8月19日（土）10:00～14:30 ※受付は9:30より

場 所：岡山県立大学 保健福祉学部棟（午前・午後）

総社市窪木111（JR桃太郎線（吉備線）・服部駅より徒歩5分、無料駐車場有）

受講料：無料 ※平成29年7月1日～31日の事前申し込みが必要です。但し、締切日前であっても定員に達ししだい、募集を締め切ります。

時間	申込番号	授業名	定員
10:00-10:10		開会／オリエンテーション（場所：保健福祉学部棟 3階 6316講義室）	
10:10-11:40 （授業）	1A	高校生のためのがん看護学入門： （場所：保健福祉学部棟 3階 6316講義室） （講師：名越恵美准教授） 2人にひとりのがんになる時代の中で、自分の住んでいる地域社会におけるがん対策の実際、また、各世代の課題を考え、がん化学療法・放射線療法に代表される治療継続を支える看護の内容と多職種連携を学び看護職への関心を高める。（※出前講義対応可）	先着70名

時間	申込番号	授業名	定員
13:00-14:30 （演習）	2A	高校生のための母性看護学演習：新生児の観察とケア （場所：保健福祉学部棟 3階 6313演習室） （講師：池田理恵准教授 他） 生後7日未満を早期新生児期といい、この時期にある児は妊娠、出産の影響を受けやすく、子宮内とは大きく異なる環境に適応しつつある。人の一生のなかで高齢者と同等に死亡率が高く、看護の必要度も高い。一方で新生児は生命力にあふれ、周囲の人々を動かす大きな力を持ったひとりの存在である。本演習では、胎外生活の適応過程にある新生児の観察とケアを体験し、新生児の看護と母子の支援について理解を深める。	先着30名
13:00-14:30 （演習）	2B	高校生のための基礎看護学演習 （場所：保健福祉学部棟 4階 6412演習室） （講師：浅井美穂助教、井上かおり助教 他） リラクゼーション法の1つであるハンドマッサージを行う。演習では看護師役・患者役の両方を経験してもらう。その際、ケア前後のバイタルサイン測定や患者の反応を通して、科学的根拠に基づいた看護とは何か考える機会とする。「看護は観察からはじまる」自らの五感を使い、看護の魅力を発見しよう。	先着30名

○お申し込み方法

本学のホームページ（<http://www.oka-pu.ac.jp/>）をご覧ください。

○お問い合わせ先

岡山県立大学 保健福祉学部事務室

TEL：0866-94-2208（直通） FAX：0866-94-2202（直通）